

## ■戌亥天中殺の人

戌亥天中殺は、六つの天中殺の星のうち、外側から見ていて一番解りにくい存在と言って良いと思います。大変にデリケートな神経を持っていながら、大らかに見えるため、甘く見て近づいて来る人が少なくありませんが、ひょっとした拍子に、その激しい内側が現われてしまうことがあります。そうした激しい内側に触れた人は、見かけとはだいぶ違うことに驚いてしまうことがよくあるのです。

この、見かけとはずいぶん違う内面を持っている戌亥天中殺の(宿命の)本質は「無から有へ」というエネルギーの働き、そして「孤独」とか「静けさ」といったものです。(「無から有」というのは、全くゼロ=無のところから、何か自分のものをつくりだしていく力です。学者ならなかに新しいものを発明・発見した、創りあげた……というような人が多いのです。単に、アイデアが浮かぶといった程度ではなく、もっと大きな働きをすると思っていいでしょう。次に「孤独」ということですが、親・きょうだいがないという孤独ではなく、応援がない人生を歩く、といった意味での孤独です。誰かに頼ろうとしたり、力を借りようすると、それだけ、持って生まれたエネルギーは発揮されず、不満の多い人生になります。「静けさ」ですが、この戌亥天中殺は、仕事のときはどんなに忙しく、せわしくても平気です。それに充分対応できるパワーもスケールももっています。しかし、いったん、それに区切りがついたら、静かなシーンとした自分だけの時間がないとやっていけないと。また、そういう時間をもつことが、この天中殺の運を伸ばしていくことになるのです。六中觀にあります『忙中有閑(忙中閑あり)』をお忘れなく。)また、戌亥天中殺は自分一代で新しい世界、財産を築いていく運命をもっているのです。(その意味では「子丑天中殺」の初代運とも似ていますが、本質は全く違います。)

この中殺は、六つの天中殺の星のうちでも一番心の支えが少なく、それだけに心の修練を積む必要があり、それに集中した人が心の高い次元を会得して宗教家とか思想家になっていきます。これらの人には戌亥天中殺生れが少なくありません。一方では、心の修練にまるで関係なく、怠け心のままに流されてしまう人もいます。その差が非常に大きいのが、この中殺の特徴です。

戌亥天中殺はどんな分野においても、自分独自の独特な世界を開く力を持っていると言っていいと思います。その意味で、ある種のカリスマ性を備えた人が少なくありません。

## ■戌亥天中殺の人との人間関係

子丑天中殺にとって中央欠落で現実性が弱い戌亥天中殺は、子丑天中殺自身の波乱的初代運に一層拍車をかけ、人生を大きく変化させるハンドルのような存在になります。

また、子丑天中殺にとって戌亥天中殺というのは良くも悪くも割り切りがたい、複雑な関係で、子丑天中殺は戌亥天中殺相手になにかと応援してあげなければならない立場になります。それも、相談にのるといった精神的なことではなく、現実的な面で応援する……手伝ったり、引き立てたり、お金を出したり、……と言う事です。

よく、友人でも、格別義理や弱味があるわけではないのに、なぜか、つい食事をおごったり、頼まれると引き受けたり、気をつかって電話したり……という羽目になる相手と言うのがいるものです。

それでいて、心の底では、そういう気をつかわせる相手に対して、何となく釈然としないものを感じる。そういう関係が戌亥天中殺との間に出来やすいのです。

それではつき合わなければ良いかと言うと、そう簡単でもない……というのは、戌亥天中殺も子丑天中殺に對して同じように援助をして呉れる面があるのです。

子丑天中殺にとって、申酉天中殺は無形恩恵を与えて呉れる相手でしたが、戌亥天中殺とは互いが助け合う仲間、「有形」の援助のある関係になります。(プロ野球の現役時代の王貞治選手〔現、ダイエイ監督〕と長嶋茂雄選手〔現、オリンピック全日本監督〕の関係がまさにその通り。ここ一番というときに、長嶋選手をバックアップした王選手の姿はいまでも、さまざまとよみがえってきます。単に仲が良いとか、精神的な相談相手というのではなく、まさに現実の仕事の面での「有形」の援助だと言って良いと思います。)

それでいて、問題なのは精神的には互いに気にいっていないという点。表面上は非常に仲良くみえても、心の中では、互いに張り合っていたり、葛藤が大ありだったり……と、複雑です。

夫婦の場合だと、奥さんが共稼ぎでせっせと家計を助けてくれる。或いは、ご主人は残業してでも高収入を持って来たり、出世したりしてくれる。

家計とか生活と言う現実面では、たしかに楽になるけれど、二人は精神的にはどうもシックリとはいかない……現実の生活は恵まれても、心の葛藤が大きい夫婦になりやすいのです。(離婚した千昌夫さん〔子丑〕とジョン・シェパードさん〔戌亥〕がこの間柄。)

そういう意味で、精神的なものが大切な夫婦・恋人・親子、といった関係では、戌亥天中殺はあまり合うとは言えません。

しかし、心の中に張り合うものが生まれる戌亥天中殺は、友人としては悪くありません。「ようし、あいつには負けられない」という励みになるし、また、互いに助け合うのですから、プラスのライバルと言えるでしょう。

上役などでも、ビジネスだけと割り切るなら互いに助け合い、引き立てあう関係ですから悪くありません。しかし、互いに心の中では好きな相手とは思えないのですが……。

ところで、戌亥天中殺のエネルギーというのは、子丑天中殺が持っている「甘さ」とか「人情」といった面を消してしまうとか、取り除く働きがあるのです。

ですから、子丑天中殺が逆境とか不運の時とかに、戌亥天中殺に巡り会うと、「なにクソ」という厳しさが引き出されて呉れるのです。

戌亥天中殺が親だと普段は絶えず、子丑天中殺の子供がお小遣いをあげたり、面倒をみたりしなければならないのに、子丑天中殺の子供が失恋したり、仕事に行き詰まって苦しんでいると言う時には、元気とやる気を取り戻させて呉れるのです。

しかし、反面、なにかそういう親の存在がうつとうしい……と言うものは残るので。(戌亥天中殺ばかりを責めてはいけないのです。子丑天中殺自身の初代運がそうさせる事も忘れてはいけません。天中殺の影響関係というの面白いものです。)